

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式ウェブサイトにてご確認ください)

●公共機関

- 区役所
- 会館
- 会館
- 会館
- 郵便局
- 郵便局
- 郵便局
- 郵便局
- 放送局

●元住吉西口(ブレイメン通り/井田中ノ町商店街通り)

- 果物
- 音楽教室
- 介護センター
- カフェ
- 花屋
- 鉄板焼
- ヘアサロン
- パン・リップル
- イタリア料理
- カイロ、整体
- コーヒー専門
- カフェ
- 接骨院
- 時計・貴金属
- 広告制作
- ヘアサロン
- 理容室
- コインランドリ

●元住吉東口(オズ商店街通り)

- カフェ
- 介護センター
- 調剤薬局
- 飲み喰い処
- 古本・CD
- イタリア料理
- STEAK
- お茶
- Sステーション
- サンドウィッチ
- 鍼灸院

●元住吉近郊

- 喫茶室

●武蔵小杉近郊

- 喫茶店
- 喫茶店
- 紅茶専門店

●東横線沿線・近郊

- 調剤薬局
- 調剤薬局
- 写真
- レストラン&バー
- カフェレストラン
- ジャズ喫茶

中原区役所 5F なかはらっぱ 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3114
 川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7001
 川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5561
 かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5567
 川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9725
 川崎ブレイメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1801
 川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9801
 川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3618
 かわさきFM 中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス Tel.044-712-1792

フルッチョ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
 SouleaveMusic School 中原区木月伊勢町10-1 三起ビル302 Tel.044-750-8993
 みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月1-35-7元住吉G Sビル2F Tel.044-430-6964
 水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4289
 Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7016
 ゆうき亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-7000
 キャメルヘアデザイン 中原区木月1-32-10中嶋ビル1F Tel.044-872-7376
 リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6555
 オステリアボッカーノ 川崎市中原区木月3-17-16荒井ビルB1F Tel.044-411-1004
 ABCカイロプラクティク 中原区木月3-20-16柳沢ビル1F Tel.044-434-4343
 MUI(旧もとえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1369
 フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1157
 井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0851
 つたとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6023
 アルケファクトリー 中原区井田中ノ町8-43 Tel.044-752-6391
 波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5693
 Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町8-2 Tel.044-755-0274
 マンマチャオ元住吉店 中原区井田中ノ町4-1メゾンアッシュ Tel.0120-027-218

Cafe OrangeBlue 中原区木月住吉町7-48-102
 ツクイ 川崎中原区木月2-8-5 Tel.044-431-0028
 網島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0375
 粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8981
 凸と凹と 中原区木月2-10-4
 自在屋 中原区木月4丁目10-6 Tel.044-433-5645
 ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4130
 金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5878
 ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5864
 ベトナムウィッチThao's 中原区木月2-1-1 Tel.044-982-3300
 和式整体&整心の『響氣』 中原区木月2-3-35住吉名店センター401 Tel.044-433-2881

シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-599-3499

Coffee Spot Life(ライブ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0025
 Cafe TEMO(テモ) 中原区上小田中6-1-5 Tel.044-755-8235
 Tea House ローズマリー 中原区小杉町70-4 Tel.044-733-1077

オレンジ薬局 川和町店横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1006
 駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7319
 PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5407
 Public House びあにしも川崎区小川町16-15ヒロサビル103号Tel. 044-201-1668
 カンファ-ツリ 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビル Tel.045-211-2201
 マシマロ 横浜市中区山下町214 巴里堂ビル2F Tel.090-2202-3294

M
M
A
G
A
Z
I
N
E
発行人/編集人 塚田親一 発行 音楽好きな友の会 〒2110025 中原区木月1-35-1フルッチョ2F TEL 090-9398-2889 2018-6-18-800 PrintingRK

M MAGAZINE

●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories
 後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会
 公益財団法人 川崎市国際交流協会
 人形劇団ひとみ座 / rk-factory

元住吉の気軽な音楽会

 音楽好きな友の会
 http://ontomo.jp/

July
 2018 7月号



7月1日(日) 13:30~
 7月15日(日) 13:30~
 音友レコード倶楽部
 フルッチョ2F 音友ハウス

7月23日(月)
 ママのおひざで聴く
 ヴァイオリンコンサート
 14:30~15:30
 フルッチョ2F 音友ハウス

7月23日(月) 19:00~
 クラシックの
 生演奏&気軽なトーク
 「かののかい」
 フルッチョ2F 音友ハウス

7月19日(木) 12:10~
 ランチタイムロビーコンサート
 川崎市生涯学習プラザ

ナット・キング・コールは、アメリカのジャズ・ピアニスト、歌手。1930年代からピアニストとして活動。スウィング・ジャズ時代末期の傑出したピアニストとしての業績を残した。1939年にピアノ、ギター、ベースのシンプルな編成からなる「ナット・キング・コール・トリオ」を結成。ビッグバンドの時代におけるコールの編成は革新的とみられ、トリオバンド流行の火付け役となった。

田島華乃のお知らせ

ヴァイオリンとピアノで開催!
 ママのおひざで聴く
 ヴァイオリンコンサート
 7月23日(月)

★開催時刻: 14:30~15:30
 コンサートの前後は
 ちびバイオリン体験コーナーです。
 ★参加費: 親子1組: 2,500円(追加1名1,000円)

子供たちにこそ本物をというコンセプトで、プロのヴァイオリニストの田島華乃とピアニストの片山裕子が、本格クラシックの名曲を中心に、親子で楽しめるコンサートをお届けします。

●田島華乃

お問い合わせ・お申し込み
 音の家otonoya
 kano.otonoya@gmail.com

会場: 音友ハウス
 元住吉西口徒歩1分、「フルッチョ」2F

別府アルケオン音楽院、第44回小野アネ子記念会に参加。全日本芸術音楽コンクール優秀賞。室内楽や都内のオーケストラで活動中。

田島華乃の生演奏&気軽なトーク
 第3回 かののかい

●日時: 7月23日(月)
 開場: 18:30 / 開演: 19:00~

●料金: 投げ銭

●会場: 音友ハウス
 東急東横線元住吉西口徒歩1分
 川崎市中区木月1-35-1 フルッチョ 2F

●演奏&トーク: 田島華乃

●共演: 片山裕子(ピアノ)

主催: 音楽好きな友の会・クラシック・ソサエティ: 田島華乃

7月生まれの作曲家の曲を中心に演奏します。
 今回も私が取り組みたい曲、ピアノの片山さんのお気に入りの曲を、聴きに来て下さった皆さんと共有できたら嬉しく思います。
 そんな私と共演者のアンサンブルや、そのやり取りをお楽しみいただくと幸いです。

音友ハウス初回のママのおひざ & 第1回かののかいレポート
 音友ハウスに場所が変わり、初開催となったこの日は「ママのおひざ」と「かののかい」を昼、夜共にピアニストの片山裕子さんと開催しました。昼は子供たちのおなかのたいこで「やまの音楽家」からスタート。ハチヤウリンの剣の舞、サラサーテのツィゴイネルワイゼンなど本格クラシックを演奏。大きな絵本で「じゃんけんぽん」を読み聞かせました。夜は、投げ銭ライブ(隠れテーマは、センチメンタル)。大人の絵本「つみきのおえ」をBGM演奏で朗読。シバの女王、ピアノの鯨、アヴェマリアなどを演奏しました。お客様とお話をしながらアットホームな雰囲気となりました。次回も音友ハウスに立ち寄り見てください。(田島華乃)

川崎市国際交流センター
 2018 インターナショナル・フェスティバル
 in カワサキ 7月8日(日) 10時~16時30分

外国人アーティスト等によるコンサートや各国の文化体験、国際交流に取り組んでいる約100の団体・約30か国の国や人々による参加型イベント。料理、音楽・舞踊、物産、ミニ講座、ワークショップなどを通じて多文化理解と交流を深め、世界を感じてください。

川崎市生涯学習プラザ
 第68回
 ランチタイム・ロビーコンサート
 2018年7月19日(木) 12:00開場 / 12:10開演 / 12:40終演予定 / 料金: 無料
 どなたでも気軽に音楽を楽しめるアットホームなコンサート

●出演: soil 久保敏江 (ピアノ)

●プロフィール: 兵庫県出身。大阪音楽大学短期大学部卒業。卒業後、ポピュラスクールにてポピュラーピアノ習得。25歳より演奏者として活動開始。主にプライダル、レストランで奏者として、合唱団や声楽では伴奏を行う。各地域のイベント、音楽祭等に積極的に出演。ジャンルにとらわれず、多くの人達に共感してもらえる演奏をモットーに日々活動中。

●お問い合わせ
 音楽好きな友の会
 コンサート担当
 総務室企画情報係
 ロビーコンサート担当
 TEL 044-733-5811
 E-mail: concert@kpal.or.jp
 川崎市中区今井南町28-41

●予定曲:
 ・summer
 ・旅情
 ・アラのテーマ
 ・第三の男
 ・夏の日の恋

音友ハウス 元住吉西口徒歩1分、フルッチョ2F

7月1日(日)「音友レコード倶楽部」13:30~
 魅惑のミュージカル映画音楽を
 上質な音響設備で堪能しませんか。

ミュージカル映画黄金時代の「南太平洋」をサウンド・トラック盤で!
 1958年、ブロードウェイ版の監督であるジョシュア・ローガンが映画版でもそのまますべての登場人物を代表する人気映画。出演はミッツィー・ゲイナー他サウンド・トラック盤を全曲アナログレコードで聴きましょう。

●今後予定しているサウンド・トラック盤: 王様と私・回転木馬・オクラホマ!・サウンド・オブ・ミュージックなど
 また映画音楽のレコードをお持ちの方は是非持参して皆さんにも聴かせてください。



「音友会」の活動拠点は
 元住吉西口徒歩1分、
 フルーツショップ「フルッチョ」2F。
 音友ハウスです。

中原区木月1-35-1 フルッチョビル 2F
 レコード倶楽部・コンサートのお問い合わせ
 ontomo.jp 検索
 http://ontomo.jp/ 090-9398-2889 (担当: 塚田)

島倉 学ミュージックスクール
 歌が人生を変える
 音楽は決して貴方を裏切らない
 驚くほど歌い方が上達する
 「島倉 学メソッド」

島倉 学ミュージックスクール
 プロ志望専門ヴォイス・トレーニング
 30分無料体験レッスン実施中!

【レッスンスタジオ】元住吉西口 徒歩5分
 島倉音楽スタジオ
 〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106号)
 【お問い合わせ】
 島倉音楽事務所 営業日: 火曜~土曜 12:00~21:00
 代表 島倉 学 定休日: 日曜・月曜
 TEL 044-567-5940 Mail: info@ms-music-school.com
 HP: http://www.ms-music-school.com/

【連載】22「私とジャズ」松波陽介

Have you ever seen the Rain(「雨」の中に君は何をみたか。)

今日は枕話はなしです、急に本題であります(笑)

名曲、名盤というのはある景色ある風景が描ける、もっというと音楽とはかけ離れたところに帰着する、というように思います。(これはあくまでも私的な見解でありますので、他に思い当たる所がありましたら、ぜひご一報を下さい。)そこで今回ご紹介したいのは、Carla Bleyの「Sextet」というアルバムです。このCarla Bleyはアメリカ出身のミュージシャンで、主にピアニストとして有名ですが、アレンジャー、作曲家としてもよく知られていて、Charlie HadenとともにLiberation Orchestraなんてアルバムも出ています。先ほど、ピアニストとしても、という表現をしたのはあまり派手なプレーをしない、ということ、とにかく彼女の真髄は作曲に長けているという点です。本題のアルバムについてですが、特徴的なのは彼女の演奏するキーボードの音色です。温かみがあって、かつキラのあるサウンド(キーボード系ではないので、はっきりとこの音色というのが断言できないのが心苦しいのですが…)が前面に出ていて、かつドラムスの音色もテンションが高く(ここではドラムスのスネアだったり、タム

だったりの張り具合、という意味のテンションです。)それらを本軸にしながらギターやベースギターが全体的な雰囲気を作り出している(因みにベースはCarlaの夫のSteve Swallowです。彼の演奏も必聴!)所謂フュージョンサウンドではありますが音量のバランスは本当に心地の良い感じ。全体的なサウンドはこのように感じ、トラックのお話です。まずトラック1、アルバムの顔とも言える曲は「More Brahms」という曲で、ミドルテンポのメジャー調で大きくキーボード、ベースがフィーチャーされています。イメージとしては、夏の暑いお昼が終わり夕方に向かう中涼しげな風が吹く海辺でのんびりしているような感じに思われます。ただし、この曲を冬に聞くと、それこそ先ほど同じような表現を使いましたが、冬の寒い日に暖炉の前でのんびりしている風景が思い起こされます。なんとというか、本当に表裏一体、紙一重、といった感じ。次は、トラックナンバー3の「The girl who cried Chanpane」という曲です。まず気になるのがこのタイトル。曲調がメジャーなサンバのような雰囲気なのですがなぜか「Cried」という言葉が使われていることです。しばらく考えあぐね

ましたが、結論としてこの「girl」はフランスのシャンパーニュ地方出身で、今はその故郷からだいぶ離れた場所に来てしまい、ふとしたきっかけで自分の故郷のお祭りの賑やかで、華やかな雰囲気を思い出して思わず涙が出て来てしまった、という感じの曲かなという見解です。(もう一つのボツ案は初めて飲んだシャンパンの味が苦くて泣いてしまった、というお粗末なものでした。笑)全曲をご紹介出来ませんが、名曲がどうして心に残るのかというのは、音楽以外のことを思い起こすことが出来るという機能を持っていて、作曲者の熱い想い、鮮明な記憶と直結している、ということがお分かりになったと思います。皆さんもそれぞれ好きな曲があると思います、ぜひ自分のイメージを語りながら音友ハウスでその音楽を楽しんでみませんか?



▲①Sextet/ Carla Bley



▲②Creedence Clearwater Revival (C.C.R.)

Jazz & Light Music

音友レコード倶楽部Report ONTOMO MUSIC RECORD CLUB ACTIVITY REPORT

音友ハウス初回の第一日曜日「Light Music」は大盛況

5月の第一日曜日、駅前フルッコ2Fに移転しての「軽音楽(Light Music)」は所せましという感で大勢の方の参加がありました。また当日は久しぶりに気持ちの良い好天気恵まれた事もあって大盛況になった一因かと思われ。それに合わせた様に最初の曲はジャズの曲として最もピュラーと思われる軽快な曲、「オンザ・サニー・サイド・オブ・ザ・ストリート」からスタートしました。その後「音友レコード倶楽部」は皆様がお持ちになったレコードやCDが鑑賞出来ますので、今回持参のタフィー・マッケロイ「The Heartbreak Kid」(写真①)、ドン・トンプソントリオによるビル・エバン

スへのトリビュート作品「Distant Bells」(写真②)、アメリカのジャズ・シンガーであるケヴィン・マホガニー「My Romance」(写真③)を鑑賞致しました。次に私が昨年特集を組んだ「プラス・ロック(北米編)」の続編として「ブリティッシュ・ジャズ・ロック(英国編)」として「イフ」(写真④)等の楽曲を鑑賞しました。アメリカ等でプラス・ロックが流行していた同時期に、英国ではサククス、ギターを中心としたロックが演奏されていました。これらのグループが後にアヴェレージ・ホワイト・バンドなどのブリティッシュ・ジャズ・ファンクの流れにつながっていったものかと思われ。そして最後は当日

の特集である「想いで有名ビッグバンドのテーマを聴こう」です。リジナルバンド演奏を主にグレン・ミラー、ベニー・グッドマン、トミー・ドーシー、デューク・エリントン、カウント・ベイシー、ウディ・ハーマン等の名だたる楽団のバンドテーマの演奏が鑑賞でき、しかも1940年代頃からのジャズの深い歴史を感じる内容となっていました。特にトミー・ドーシー(写真⑤)などが曲の合間にとるロンボーンの高トーンを使ったソロは同じ楽器を演奏する筆者としては余りの美しさに憧れの対象となるような音でありました。(フレドリック・ジョーンズ記)



▲①The Heartbreak Kid/ Taft McElroy



▲②Distant Bells/ Don Thompson Trio



▲③My Romance/ Kevin Mahogany



▲④IF/IF Tommy Dorsey and his orchestra



▲⑤1935-1945/ Tommy Dorsey and his orchestra

第118回目のJazz Date

オーラ漂うBLUE NOTE 1500番台

「今後ともご最良に、ブルーノート(以下BN)1500番台は全て揃えてありますので…」と小田急池袋Y駅前に2010年ごろに開店したジャズバーの店主の挨拶でした。

1960年代に流行したジャズ喫茶では、店のレコード・リストに1500番台が何枚あるかで店の格が推しはかられたと四谷「いぐる」の経営者後藤氏が記述しています。

今は閉店となったY駅の店主の気持ちにもその名残があったのでしょう。ブルーノートはドイツからアメリカへ移民したジャズ愛好家アルフレッド・ライオンにより1939年に設立されましたが、少し遅れてベルリン時代の旧友で写真家のフランシス・ウルフ(副社長)が合流、ついで録音技師のルディ・ヴァン・ゲルダー、最後にアート・ディレクターのリード・マイルスが起用され、これら4人により1500番台のアルバム作りが着手されました。

ライナー・ノーツの質を格段に向上させた立役者としてレナード・フェザーをはじめとするジャズ評論家の存在も光っています。ライオンは新人発掘のために現地に赴くことをいとわず、レコーディングでは楽しい雰囲気づくりを作ろうと美味しい食べ物と飲み物を用意したそうです。またギャラを払ってまでもリハーサルを重視したことなど従来のプロデューサー達とは違いました。また人を信じていることができる男であったため恩返しを受けることも少なくありません。年一度の録音の約束を守れなくロンピアと契約をしたマイルスが、「Somethin' else」(BN-1595) (写真①)でキャンボールをリーダーに立てて恩返しをしたこと、BNにリーダーアルバムがなかったコルトレンは前渡金を受け取ったままプレスティッジと専属契約したものの、その契約にBNとの1枚の録音を条件に入れていたことで誕生

した「Blue Train(BN-1577)」(写真②)などの美談からは男同士の友情が伝わり思わず胸が熱くなりますね。

夜型のジャズメンを昼間スタジオに集めるのではなく、出演しているクラブでライブ録音をした「バードランドの夜」(BN-1521) (写真③)、専属ピアニストのホレス・シルバーがいるにもかかわらずセロニアス・モンクを追加招集し二人の巨匠ピアニストを1曲中交互に演奏させた「Sonny Rollins Vol.2」(BN-1558) (写真④)など、ライオンの画期的なアイデアの数々は枚挙にいとまがありません。

会社の全権をリパティに譲った後完全引退した退き際には美しさを感じました。ライオンの生誕110周年の特集を企画し改めて1500番台を聴いてみると、その偉業に圧倒され興奮さめやらぬ状態が続いています。(K.T記)



▲①Somethin' Else/ Cannonball Adderley



▲②Blue Train/ John Coltrane



▲③A Night At Birdland, Volume 1/ Art Blakey Quintet



▲④Volume 2/ Sonny Rollins

7月15日の Jazz Date
CONCORD
JAZZ RECORDS

コンコード・ジャズ・レコードは、1973年にカール E. ジェファーソンが設立し、自らプロデュースを担当したレーベルです。今は亡きジェファーソンへの感謝の念をもって数枚のアルバムから選曲してみました。

THE HANNA・FONTANA BAND

【連載】19 4ビートに首ったけ 地元マスターのジャズ談話 BIANCA店主 長谷部 徹

バルカン半島の至宝! 哀愁のトランペッターは雨の季節に似合います。

皆さんがこの記事を読んでいる時、サッカーW杯は始まっているのでしょうか?我が日本代表は善戦しているかな?クビになってしまいました、パビド・ハリルホジッチ監督のサッカーは嫌いではありませんでした。世界の中では弱者である日本が予選を突破する為に、「縦に速いサッカー」は、かなり現実的なスタイルでしたよね。日本人とは合わなかったのですが、ハリル監督のW杯を見てみたかったので残念です。

そんなハリルホジッチ氏は旧ユーゴスラビア(現在のボスニアヘルツェゴビナ)出身です。イビチャ・オシム前監督も同じでした。その為か、二人は似ている所がありました。1歩も譲らない固い信念、微笑みを見せないシリアスな顔つき、隠喩に満ちた話し方。ちょっと哀しげな暗さをいつも身にまとっているように見えました。ボスニアヘルツェゴビナがあるバルカン半島の対岸はあの太陽のように明るいイタリヤなのに、民族の違いで不思議ですね。辛い歴史も関係しているのかな?

そんな事に思いを馳せつつ、今回ご紹介させていただくのは、眼はオシム氏にそっくりで鼻がハリルホジッチ氏にそっくりな、旧ユーゴスラビア出身

の哀愁のトランペッター、ダスコ・ゴイコビッチです。長いキャリアの中から、今回は私の大好きなブラジル音楽をやっている2枚を取り上げたいと思います。バルカン半島の哀愁とブラジルの哀愁が重なって、それはそれは美しいアルバムに仕上がっています。

まず1枚目は「SAMBA DO MAR」(写真①)このアルバムはまるで、ブラジルで現地のミュージシャンと録音したように聴こえるのですが、実はドイツに於いて、ハンガリー出身のギタリスト、マケドニア出身のベーシストと一緒に録音したものです。驚きですね!このサウダージ感は何処からくるのでしょうか?まず、アルバムタイトルの1曲目「Samba Do Mar」。素晴らしい!静かなベースラインから押し出されるように始まるポッサギター、そこに重なるダスコのミュートプレイは郷愁と抒情に溢れ、心の琴線にピンピン響きます。また、4曲目、アントニオ・カルロス・ジョビンの「How Insensitive」、10曲目、「Sunset」もお勧めです。どの曲も美しいメロディーにたっぷりの哀愁を滲ませて、聴く人の心を切なくする事でしょう。

2枚目はその続編とも言える「SAMBA TZIGANE」(写真②)。1曲目と同じメンバーに加え、女性ボー

カルとフルートが参加しています。より音楽の幅が広がり、スケールが大きくなったような印象です。まずは3曲目、軽快のフルートから始まる「Melodia Moca」は親しみ易さと切なさが混ざったメロディーで心に浸みる1曲です。4曲目、お馴染みの「O Grande Amor」は言う事無い!続く5曲目「A Descoberta De Lentidao」はゆったりとしたメロディーにスクヤットのボーカルが良い味を出していて、スケールの大きな曲に仕上がっています。紹介しているときりが無いのですが、ダスコの自作の9曲目もジョビンの10曲目も素晴らしいです。

どちらも、よくある「オシャレなボソノバのアルバム」では無く、東欧のジャズミュージシャン達がブラジル音楽を愛し、尊敬し、本気で取り組んだアルバムだと思います。だから何度聴いても飽きない、懐の深い演奏になっているのではないのでしょうか?

もちろん、たった2枚のアルバムを聴いただけでボスニアヘルツェゴビナの人々の心を理解する事なんて無理ですけど、ブラジル音楽の隙間から見え隠れする「哀愁」や「優しさ」や「郷愁」などを聴いていると、オシム氏、ハリルホジッチ氏の何かを守り抜こうとした態度や時折見せる寂しげな眼差しや隠しきれない暖かな心を思い出さずにいられません。

雨の季節です。こんな時は外に出かけず、ゆっくりと東欧の音楽を聴いてみてはいかがでしょう?ダスコの哀愁に共感したあなたの心は極東を離れ、遠くバルカン半島から南米へと飛び回るかもしれませんよ。



▲①Samba Do Mar/ Dusko Goykovich



▲②Samba Tzigane/ Dusko Goykovich

【連載】18「くじら座」日記 牧野ケント 心のふるさと

先日、くじら座は島村楽器主催の音楽コンテスト「アコバラ」に出場してきました。頻りにこうしたコンテストに参加しているわけではありませんが、たまにいつもと違う環境に身を投じることで、その舞台でしか感じられない緊張感をもたらすことができます。

当日は多くのファンの方にご来場頂けたことが幸いし、グランプリには至らなかったものの、くじら座がコンテストの「ベストプレイ賞」を受賞することができました。賞は結果論で、他の出演者も皆素晴らしいパフォーマンスをし、幸運にも僕らが選出頂けたと感じています。それでも、やってきたことへの評価を受けるというのはクリエイター冥利に

尽きることでした。

歳を重ねると、良くも悪くも自分なりのやり方が固まって、だんだんと周囲から指摘されなくなったり指導を受けにくくなったりしがちです。しかし、人間が成長するためには「指摘」頂くことが必要で、またその指摘を「謙虚」に受け入れられるかが重要です。そして積み上げてきた経験で闘っていくのではなく、積み上げてきた経験と闘っていくことが大切です。

くじら座には到達したい場所があります。見たい景色もあります。自分たちの目先の成功をしっかり「僕らのライブ」とし、その先にある最終的な成功をがっちり掴みにいきます。心のふ

るさはきっとそこで生まれると思います。あの時があって良かったな、と。



▲くじら座/牧野ケント(左)/牧野み(右)

【連載】7 Addicted to Guitar 永瀬 晋 右手のリズム

お世話になっております。

前回のパワーコードに続き、今回も音楽的な話になりまして、右手のリズムについて解説していきたいと思っております。

リズムに関しては、弦楽器の特性上、実際に弦を弾く手が右手になるということもあり、右手の動き次第で様々なリズムやジャンルを表現することができるのですが、今回のテーマはフォークソングに代表される8ビートストロークを紹介していきたいと思っております。どんなリズムかという、文字で表

現するのは難しいので、是非譜例の通りのリズムでチャレンジしてみてください。

※コードはEm
※口の下が開いている記号がダウンストローク Vがアップストロークです。



ソウリーヴ・ミュージック・スクール SouleaveMusic School
http://souleave-music.com/
元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分
チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992
AM8:00/PM22:00start

季節の果実で、お気持ちを お伝えしませんか。
元住吉駅西口徒歩1分 フルーツショップ フルッコ
中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338